

会議録

会 議 の 名 称	第4回あま市生涯学習推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和4年3月4日（金） 午前9時30分から
開 催 場 所	あま市甚目寺公民館 2階 研修室
内 容	1 議題 (1) あま市生涯学習推進計画（案）について (2) 今後のスケジュールについて
資 料	資料1 あま市生涯学習推進計画（案）
出 席 委 員	岩瀬真寿美委員長、渡辺幸人副委員長 石川稔子委員、林初音委員、林文博委員、村上千代子委員 村田和典委員、吉川孝子委員（50音順）
欠 席 委 員	中田加代子委員
事 務 局	（教育委員会） 松永裕和教育長、吉川誠教育部長 （教育部生涯学習課） 鎌倉崇志課長、後藤好和主幹、近藤博主幹、 小川泰洋係長、山崎友和主査、駒瀬直輝主任

会議の経過

1 議題

(1) あま市生涯学習推進計画（案）について

資料1に沿って、前回指摘があり変更となった箇所を中心に事務局より説明

【質疑応答】

副委員長：2ページのスパイラルのイメージ図について、薄い色の枠で取り囲んであるように見えるが、枠があるということでよい。

事務局：枠があるということでよい。

副委員長：2ページと33ページの女の子のイラストが同じである。

事務局：上昇するイメージに合ったイラストのため使用した。代わりとなるイラストの掲載を検討する。

委員長：第4章「生涯学習を取り巻く社会情勢」の部分は、この冊子のとおりグレーということですか。

事務局：グレーということですか。

事務局：19ページから20ページのそれぞれの棒グラフのうち、未記入についてのグラフを一番上に配置しているが、一番下に移動させ、22ページと配置を統一させる。

事務局：第6章「資料」の部分について、一覧表の文字について白色のほうが見やすいのではという意見が事務局内から出た。一度比較し、より見やすい色に決めることとする。

副委員長：各ページ上の部分に色を付けているが、45ページと46ページのみ色が無い。

事務局：うまく印刷されなかったようなので修正する。

委員：25ページの下部の文章が右に寄っている。

事務局：写真の都合で右に寄る形とした。写真を反転させれば、左詰めも可能であるため、調整する。

委員長：同じく25ページについて、講座に参加したことが「ある」人となっているが、前ページとの統一を図るという点で「ない」のほうがよいのではないか。

教育長：講座に参加したことがない人の割合の高さが目立つことになるが、それが実態なので、どう改善していくかというところにつながると思う。

委員：10ページの写真が少し暗く見にくいように感じる。

事務局：確かに見にくいため調整する。

委員：余白の部分がなくなるということは、その分小さくなるということか。

事務局：余白がなくなる分、全体的に広がって大きくなる。

委員：カラーになり、だいぶ見やすくなった。

委員長：カラーとなったので、目次のページの各章の記載部分をそれぞれ色付けするとよいのではないか。

教育長：第4章「生涯学習を取り巻く社会情勢」はグレーの配色となっているが、他に何か工夫はできないか。

事務局：他の配色で検討する。

委員：他の章では見られないが、第1章のコラムの見出し部分にのみ影がある。

事務局：修正する。

(2) 今後のスケジュールについて

口頭にて事務局より説明

【質疑応答】

なし

各委員より一言

副委員長：大変よいものができたと思う。また、それに携わらせていただけてよかった。ただ、これで終わりではなく、本計画を手にとって生かしていかなければならない。

委員：当初から考えて大変素晴らしい出来上がりになり、参加できてよかった。本計画のインターネットによる広報等も考えて、先に進んでいけばと思う。

委員：色々と勉強させていただいた。先日社会教育関係の資料をいただき、次年度の生涯学習講座の内容を見させていただいて、各公民館の個性も出てきていると感じた。また、時代に合わせた講座も増えている傾向にあると感じた。ただ、これからの10年は劇的に世の中が変わっていくので、本計画を基に、柔軟に対応していく必要があるのではないか。

委員：愛知県では来年度、第3次生涯学習推進計画を策定する。本委員会に参加して思ったのは、手に取る人にとって分かりやすく、内容が見た人の目線で書いてあることが大切であるということである。その点で本計画は素晴らしいと思う。本計画策定後、地道に生涯学習活動を続けていくことが最も難しく大切なことであるので、頑張ってください。

委員：先日の委員長の講演に出席させていただき、1つの行動によって物事の考え方も違ってくると感じた。当初は本計画の基本理念に出てくるスパイラルという言葉に負のイメージを持っていたが、議論を重ねるうちに、考え方が変わった。本委員会に参加できたことに感謝している。

委員：文化協会のような伝統のある文化的な活動をしてきて、時代とともに流れが変わってきていると感じる。本計画が将来のことを考えて策定されることに感激している。

委員：欠席させていただくこともあったが、本委員会で色々な意見を聞くことができて、興味深かった。本計画ではSNSを使った情報発信にも言及しているが、あま市が発信したものを若い世代が共有することで、更に話題になるのではと思った。

委員長：自分自身、何もない状態からこのよう計画が完成したことに感激している。年代や分野、職種の違った方々の意見を伺えるという点で、大変貴重な場であった。本計画は今後に向けた土壌になっていく一方で、今までの生涯学習の取組があつてこそそのものである。表面には出ていなかったかもしれないが、それがまとまった形でこのように市民が見ることができる冊子になったことに意味があると思う。